



平成 30 年 3 月 22 日  
 沖縄県観光振興課

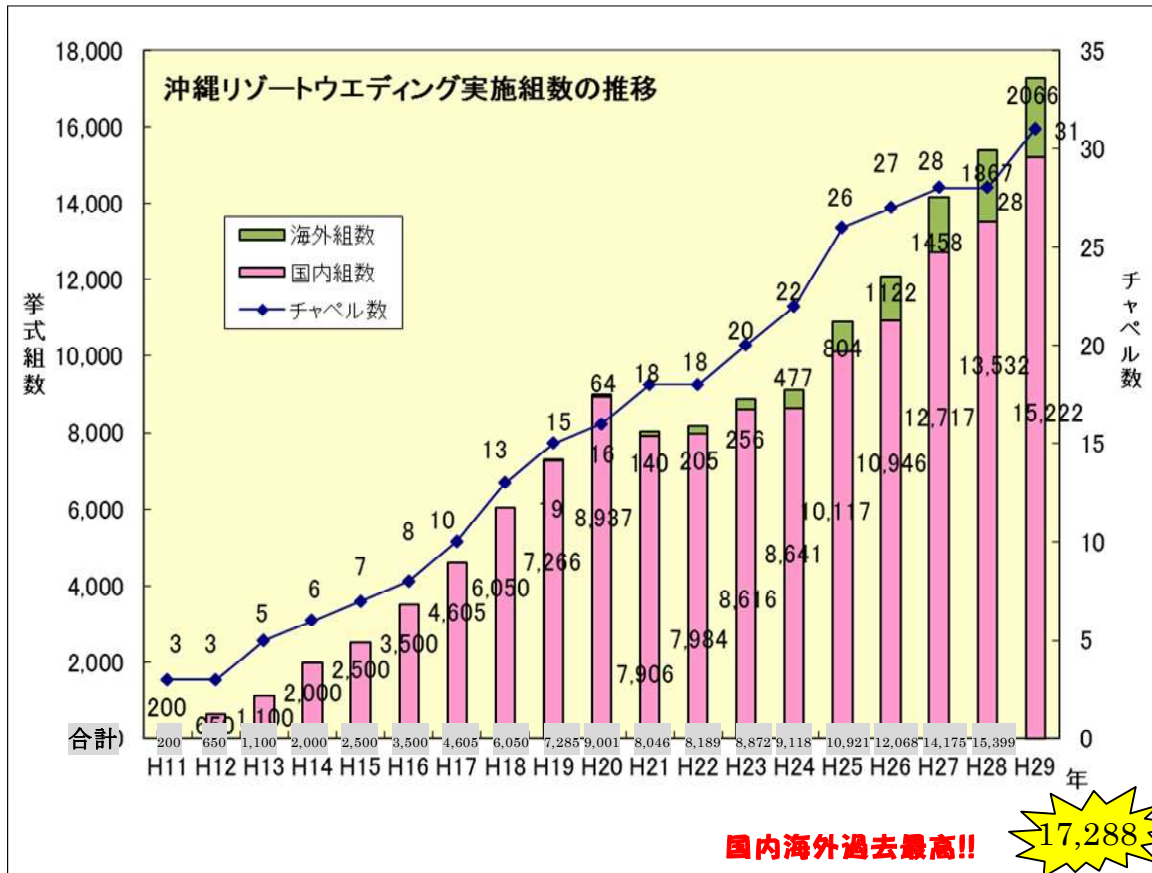
前年比  
 1,889 組増

# 平成 29 年【年間】 沖縄リゾートウエディング 17,288 組

<プレスリリース>

## ☆☆平成 29 年【年間】結果☆☆

平成 29 年 1 月～12 月「沖縄リゾートウエディング」の実施組数は、対前年比 112.3% (1,889 組増) の **17,288 組** と過去最高となりました。内訳は国内組数が対前年比 112.5% (1,690 組増) の 15,222 組、海外組数が対前年比 110.7% (199 組増) の 2,066 組となりました。



調査方法：沖縄リゾートウエディングを取り扱う県内関係企業 63 社を対象に調査を実施。このうち回答のあった 49 社の数値を集計。

## 1. 沖縄リゾートウエディングの定義

「沖縄リゾートウエディング」とは、県外及び海外に在住する新郎新婦が、沖縄でウエディングを挙げることを目的に来県し行うウエディングのこと。この調査では、チャペルウエディングだけではなく、フォトウエディングやビーチ・レストラン・琉装ウエディングなども調査対象に含めている。

## 2. 傾向

- ・平成 29 年は、目標の 16,000 組を達成し国内・海外ともに過去最高となり総実施組数 17,288 組を記録した。国内組数が対前年比 112.5% (1,690 組増) の 15,222 組、海外組数が対前年比 110.7% (199 組増) の 2,066 組であった。国内・海外ともに組数は増加しており、増加比率は国内の方が高い。
- ・2 月を除き、その他のすべての月で前年と比較して実施組数が増加していた。
- ・昨年、実施組数が 2,000 組を超えたのは 10 月だけであったが、今年は 10 月、11 月、4 月において、2,000 組を超えた。(10 月 2,293 組、11 月 2,214 組、4 月 2,012 組)
- ・国内は、「少子化」や「ナシ婚」といった市場の縮小があるものの、海が見えるチャペルでの挙式の人気が高いこと、ビーチなど沖縄の自然の中で撮影するロケーションフォト(フォトウエディング)の人気が高まっていることに加え、ビーチウエディング、レストランウエディング、琉装ウエディングといった多様な選択肢があることが実施組数増の要因として挙げられる。

また、リゾートウエディング地として海外を検討していた層が、参列者のことを考え「身近でパスポートなしで行けるリゾート地」として沖縄を選択していることも実施組数を押し上げる要因と思われる。

- ・海外は、重点市場としている香港、台湾、中国、韓国のすべてで、昨年を上回り香港は前年比 114.4% 増の 1,218 組、台湾は前年比 108.4% 増の 596 組と増加している。増加の要因として、海のみえるチャペル等での挙式の人気が引き続き高いこと、国内同様ロケーションフォト(フォトウエディング)の人気の高まりが要因として挙げられる。

## 3. 平成 30 年目標組数

平成 30 年 目標 18,000 組

(国内 15,800 組、海外 2,200 組)

## 1. 月別挙式状況

トップシーズン☆ 10月(2,293組)、11月(2,214組)、4月(2,012組)、  
7月(1,650組)の順に多い。

ボトムシーズン★ 1月(632組)、8月(815組)、2月(876組)の順に少ない。  
・2月を除き、その他のすべての月で前年と比較して実施組数が増加した。

## 2. ウエディングスタイルの状況

挙式割合：国内 66%、海外 79%  
フォト割合：国内 34%、海外 21%

- (1) 挙式スタイルとしては、「チャペルウエディング」が最も人気で、全体の 65.1% を占めている。
- (2) 挙式は挙げないが、沖縄の海や城跡などのロケーションで写真を撮る「フォトウエディング」は年々増加傾向にあり、全体の 32.4% を占めている。
- (3) また全体の 2.5% と割合的には低いですが、沖縄では以下のような挙式を実施できる。
  - ホテルウエディング…ホテルのバンケットルーム等で行われる挙式
  - ビーチウエディング…海を目の前にした絶好のロケーションで挙式
  - レストランウエディング…沖縄の食材を使った料理を味わいながらカジュアルな雰囲気を楽しめる挙式
  - 琉装ウエディング…琉球王朝時代の正装をまとっての挙式

## 3. 地域別の状況

国内客においては、前年と同様、関東地方からの申込みが最も多く、全体の約 40.3% を占めている。(関東 40.3%、近畿 19.5%、中部 16.0%、九州 6.8%、北海道 5.3%、中国 5.2%、東北 4.2%、四国 2.7%の順)

都道府県別では、東京 2,127 組、大阪 1,085 組、愛知 995 組、神奈川 808 組、北海道 591 組の順に多い。

海外客においては、香港が 1,218 組(前年比 153 組増:14.4%増)、台湾が 596 組(46 組増:8.4%増)、中国が 164 組(22 組増:15.5%増)、韓国が 49 組(11 組増:29%増)の順となり、重点市場に置いている 4 地域すべてにおいて、前年よりも組数は増加した。

その他の国では、カナダから 7 組、シンガポールから 4 組、アメリカから 2 組、マレーシアから 1 組となっている。

#### 4. 市町村別挙式組数の状況

恩納村・読谷村で全体の約 37%を占め、次いで、北谷町、名護市、糸満市、宮古島市、宜野座村、石垣市の順で件数が多くなっている。

#### 5. リーガルウェディングの実施状況

海外組数 2,066 組中 400 組 (19.4%) がリーガルウェディングを実施しており、昨年度と同様香港カップルの需要が高い。理由として、香港では、リーガルウェディングを挙げると本国で宣誓式を行う必要がないこと、各市町村で発行される婚姻届受理証明書が重宝されることが挙げられる。

リーガルウェディング実施組数は、前年と比べて 16 組増となり、また今年実施された市町村は 12 市町村となっている。

読谷村が 142 組と最も多く、恩納村 126 組、国頭村 41 組、北谷町 25 組、名護市 21 組、那覇市 17 組、糸満市 5 組、本部町 6 組、石垣市 2 組、宜野湾市・宮古島市でそれぞれ 1 組の順となった。

※リーガルウェディングとは、海外で現地の法律に基づいて挙式をすることであり、国によって条件・形式が異なる。日本では、戸籍法に基づき婚姻届を市町村役場に届け出ることを指す。

#### 6. 年代別組数

年代別では、20 代が全体の 45.9%、30 代が全体の 41.3%と、20 代・30 代で 85%を超える。

#### 7. 引出物

バームクーヘンやカタログギフト、琉球ガラス等の人気が高く、かりゆしウェアやミンサー織りとの回答もあった。

#### 8. 平均参列者数及び平均滞在日数

国内 平均参列者：17.6名（平成28年平均18.6名）

平均滞在日数：新郎新婦3.6日 / 参列者2.7日

海外 平均参列者：22.7名（平成27年平均22.9名）

平均滞在日数：新郎新婦4.3日 / 参列者3.6日

- ・新郎新婦は参列者よりも、国内で0.9日、海外で0.7日、滞在日数が長い。
- ・海外の新郎・新婦は、国内の新郎・新婦と比較して0.7日滞在日数が長い。
- ・海外の参列者は、国内の参列者と比較して0.9日滞在日数が長い。

## 9. 推計来県者数

少なくとも約24万8千名の方がリゾートウェディングのために来県していると推計される。

《算出方法》

### ◎国内

①組数 15,222 組（うち挙式 66%≒10,047 組、フォト撮影のみ 34%≒5,175 組）

②平均参列者数 17.6 名（フォト撮影のみの場合は、参列者は 0 名と仮定）

{10,047 組×19.6 名（新郎新婦 2 名+平均参列者 17.6 名）} + 5,175 組×（新郎新婦 2 名）≒ 207,271 名

### ◎海外

①組数 2,066 組（うち挙式 79%≒1,632 組、フォト撮影のみ 21%≒434 組）

②平均参列者数 22.7 名（フォト撮影のみの場合は、参列者は 0 名と仮定）

{1,632 組×24.7 名（新郎新婦 2 名+平均参列者 22.7 名）} + 434 組×（新郎新婦 2 名）≒ 41,178 名

**国内 207,271 名 + 海外 41,178 名 = 248,449 名**

## 10. 推計経済効果

リゾートウェディング顧客の県内消費額は、少なくとも約271億5千万円

《算出方法》

### ◎国内

①組数 15,222 組（うち挙式 66%≒10,047 組、フォト撮影のみ 34%≒5,175 組）

②平均参列者数 17.6 名（フォト撮影のみの場合は、参列者は 0 名と仮定）

③平均費用額 挙式 42.8 万円、フォト撮影のみ 10 万円（オープン価格による平均値）

④国内ウェディング客一人当たりの観光消費額 85,759 円（H28 年度観光統計実態調査）

{(10,047 組×42.8 万円) + (5,175 組×10 万円) + [(10,047 組×19.6 名) + (5,175 組×2 名)] × 85,759 円} ≒ 約225億9千万円

### ◎海外

①組数 2,066 組（うち挙式 79%≒1,632 組、フォト撮影のみ 21%≒434 組）

②平均参列者数 22.7 名（フォト撮影のみの場合は、参列者は 0 名と仮定）

③平均費用額 挙式 29.2 万円、フォト撮影のみ 10 万円（オープン価格による平均値）

④海外客一人当たりの観光消費額〈空路〉 98,097 円（H28 年度外国人観光客実態調査）

{(1,632 組×29.2 万円) + (434 組×10 万円) + [(1,632 組×24.7 名) + (434 組×2 名)] × 98,097 円} ≒ 約45億6千万円

**国内 約225億9千万円 + 海外 約45億6千万円 = 約271億5千万円**

➤ 平成 29 年度 沖縄県・(一財) 沖縄観光コンベンションビューローの取り組み

(1) 国内プロモーション

- ① ブライダルフェア等における観光PRと連動した  
カップルアニバーサリー広報宣伝活動（北海道・東京・神奈川・福岡等）
- ② 全国誌や地方誌を活用したプロモーション
- ③ WEBやパンフレットによる情報配信

(2) 海外プロモーション

- ① 香港のブライダルフェアへの出展及び台湾での個別販売会の実施
- ② インフルエンサーを招聘したFAMツアー（台湾）
- ③ WEBや女性向け雑誌等を活用したプロモーション（香港・台湾）

(3) 受入体制整備・県内周知等

- ① 県・OCVB・市町村・観光協会・県内関係企業による「カップルアニバーサリーツアーリズム連絡会」を本島、石垣島、宮古島、久米島で開催

➤ 一般社団法人 沖縄リゾートウエディング協会の紹介

平成 23 年 4 月、沖縄リゾートウエディングの地位向上と発展を目的に、県内事業者がこれまで各自で行っていた誘致活動などを共同で行うため、ブライダル事業者を中心に「沖縄リゾートウエディング協会」が設立され、平成 25 年 8 月に正式に一般社団法人となる。現在の加入事業者は、平成 30 年 3 月 13 日現在、理事 8 社で会員企業は 101 社あり、その中で 6 つの委員会から構成される。

- ① リゾートウエディングの日委員会・・・毎月 22 日（夫婦の日）にリゾートウエディングの挙式をするお客様へ那覇空港で歓迎するためセレモニーを開催。
- ② WEB・フェア委員会・・・毎年 1 月に「沖縄リゾートウエディングフェア」を開催。公式サイトでの周知や助成事業を活用した交通広告等を実施。
- ③ フォトコンテスト委員会・・・「沖縄リゾートウエディングフォトコンテスト」を開催しあわせて沖縄リゾートウエディングのゲリラ撮影防止に関する声明文にて撮影許可申請を促し、遵守事業者告示公開する等の取り組みを行う
- ④ インバウンド委員会・・・リーガルウエディングの申請様式を統一し、結婚証明書受理に関する自治体と事業者の課題解決への取り組みを行っている。
- ⑤ 引出物委員会・・・地域産業資源を活用した引出物、引き菓子の開発。
- ⑥ 読谷村、恩納村、名護市が行ったふるさと名物応援宣言における「沖縄リゾートウエディング応援宣言」を実施。YONNA リゾートウエディング協議会として、地元産業資源を沖縄リゾートウエディングに活用できるように取組をしている。

【沖縄リゾートウエディング協会に関する問い合わせ】

事務局：サンネット株式会社

〒900-0012 沖縄県那覇市泊 1-3-2 9 階

Tel 098-860-0670 / Fax 098-860-0675

E-mail info@tabi-wedding.com

WEB <http://www.tabi-wedding.com>

【統計調査についての問い合わせ】

沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課  
誘致企画班 担当 知名

TEL：098-866-2764

FAX：098-866-2765